

(児童指導員科) 入学試験問題

国 語

試験 時 間

九：三〇～一〇：三〇

(注 意)

- 一 係員の指示があるまで、問題用紙及び解答用紙に触れないで下さい。
- 二 問題は二頁と十六頁に印刷されています。
- 三 解答用紙に氏名、受験番号及び受験科目名を記入して下さい。
- 四 解答方法は次のとおりです。
例 「一」埼玉県の県庁所在地として、正しいのはどれか。解答番号は

1

「二」の正答は「③ さいたま市」ですから解答用紙の解答番号1の横に並んでい
るマーク欄の中の「③」を鉛筆またはシャープペンシルで「●」のように塗りつぶし
て下さい。
- 五 机の上には鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計(計算機能のついていない
ものに限る)、受験票以外は置かないで下さい。
- 六 受験票は番号札の手前に置いて下さい。
- 七 マスクを着用している者は、試験官が本人を確認する間、マスクを外して下さい。
- 八 ハンカチ、ティッシュペーパーを使用する者は、静かに挙手をして、係員の指示
に従って下さい。
- 九 試験中に気分が悪くなったり、トイレへ行きたくなくなった者は静かに挙手をして、係
員の指示に従って下さい。
- 十 試験問題に関する質問は一切受け付けません。
- 十一 途中で退室する者は、解答用紙を机の上に置き、静かに挙手をして、係員の指示に
従って退出して下さい。ただし、試験開始後三〇分間及び試験終了前一〇分間の退出
は認められません。
- 十二 試験終了後、試験問題は持ち帰って結構です。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本人は議論ができない。もつとディベートのスキルを磨く必要がある。そういったお題目のもと、学校教育や社員研修の場でディベートが盛んに取り入れられつつある。だが、私たち日本人はなぜディベートが苦手なのか。その理由を考えてみる必要がある。じつは、そこに深い意味が隠されている。

人間というのは、自分の属する文化が求める能力を発達させるものである。それによって社会への適応がスムーズになる。日本人がディベートのスキルを発達させてこなかったのは、^A日本文化がその種の能力を必要としないからだ。そこをしっかりと踏まえておかないと、大きな落とし穴にはまることになる。

先頃のソチオリンピックの開会式で、五輪の輪の一つが点灯しないという不具合が生じたのは、^Bシウウチのことだろう。その責任者の記者会見の様子がテレビのニュースで流されたが、記者からの質問に激高し、全身で怒りをあらわし、記者の方を指さしながら、

「だれも傷つけていないじゃないか」

というような主旨のことを叫んでいた。あくまでも自分の非を認めず、自己正当化に執着する。(1) 欧米諸国の人々にとってはごく自然な反応なのかもしれないが、日本人の感覚からすると、とても違和感のある光景だった。

同じ日のニュースで、これとは対照的な光景が流された。ある作曲家がゴーストライターを使っていたことが発覚した件に関して、テレビ局のニュースキャスターが、

「気づくことができず、大変申し訳ありませんでした」

というような謝罪をしたのだ。自己正当化に執着する国であつたら、こんな風に謝罪することはないだろう。

「こっちの責任じゃない。嘘をついてわれわれを騙した作曲家が悪いのだ」

といった主旨の説明をして開き直るのではないだろうか。⁽¹⁾ リクツで考えれば、局の側も騙された被害者なのだから。

外国の映画を観ればわかるように、ディベートの盛んな国々では、だれもが身振り手振りを交えて盛んに自己主張をし、相手の言うことにも遠慮なく反論する。日本人からすれば、あんなに感情的になって激しく言い合わなくてもいいのに、いつもあんな風にもやり合ったら疲れちゃうだろうに感じる。(2)

私たち日本人は正反対だ。自己主張を控え、相手の言うことを極力否定しないように気をつかう。人と対立の構図になることを極端に嫌う。^I、相手と溶け合うことを

好む。そこで用いられるのが、相手の思いを汲み取るコミュニケーションであり、相手

の気持ちや立場を思いやるコミュニケーションである。

相手が何を思い、何を望んでいるのかを、その言葉や様子から察し取ろうとする。利害が対立する場合も、相手の意向を尊重しつつ、自己主張でなく譲り合いの精神で落としどころを探そうとする。

たとえばアメリカとのTPP（環太平洋経済連携協定）交渉が難航し、政府の代表者が疲れ果てた表情で、

「こちらは譲歩案を用意して臨んだのだが、アメリカ側が一切譲歩しないため、話が進展しなかった」

と報告する。そんな光景を見ていて思い出すのは、子どもがどうしても言うことを聞かないとき、たとえば夕食に出された野菜を嫌いだからと食べないときの母親の態度の日米の大きな違いである。

アメリカの母親は、親としての権威を振りかざして「食べなさい！」と繰り返し、とにかく言うことを聞けとますます強い圧力をかける。(3) それに対して、日本の母親は、「お願いだから言うことを聞いて」「ちよつとだけでいいから食べてね」「明日は食べるよね」などと徐々に譲歩していく。(中略)

日本人は自己主張ができない、デイベートが下手だと言われるが、それにはじつは深い意味がある。そこにこそ、殺風景な世界を和ませ、対立を避け、平和な世界をつくっていくためのヒントがあるのだ。

台風で電車が止まり、取り残された乗客が駅に溢れ、ごった返している中、インタビューに答える乗客たちは、困惑し途方に暮れている胸中を語りながらも、時折笑みさえ浮かべ、語り口も穏やかだ。他の国だったら、^(ウ)セツパ詰まった様子で身振り手振りを交えて、怒り狂ったように自分の困った状況をまくし立てるに違いない。

Ⅱ にもなぜ日本人は微笑むのかと、外国人を不思議がらせるジャパニーズ・スマイルだが、困っている自分の状況にふさわしい感情表現をすべきというのは、きわめて自己中心的な観点と言えないだろうか。(4) 私たち日本人は、相手に心理的負担をかけたくないという配慮から、どんなに深刻な状況にあっても穏やかさを示そうとして微笑むのである。

1579年から徳川幕府が誕生する1603年にかけて、3度にわたって日本に滞在した経験のある宣教師アレシヤンドロ・ヴァリニャーノは、日本人は思慮深く、ヨーロッパ人と違って、悲嘆や不平、あるいは窮状を語る際にも感情に走らない、それは相手を不愉快にさせてはならないという思いがあるからだとして記している。自分の気持ちの発散よりも、相手の気持ちへの配慮を優先させる姿勢は、何百年も前から日本人の心の

深層にしっかりと根づいていると言つてよいだろう。

スポーツ競技を見ていると、理解に苦しむ審判の判定がしばしば見られる。明らかに誤審と思われる判定によつて敗れたのが日本人選手の場合、その後のインタビューでは、誤審に憤るよりも、

「はつきりとわかるように勝たなければいけない」

「自分の力不足でした」

「もっと力をつけて出直したいと思います」

などと潔さを示す。見苦しさを嫌う日本では、それが「できた人物」ということになるからだ。(中略)

政治がらみの報道でも、いかにも日本らしいコミュニケーションのスタイルが随所に見られる。外国の報道官が、日本をはじめ外国を名指しで非難し、攻撃的な言葉や口調で、

「明らかに嘘を言っている」

「許すことのできない卑劣な行為である」

「これからどんな深刻な事態になろうとも、その責任は向こう側にある」

などと「チヨウハツ」するような言い方をすることがある。(5) 日本の場合、外国の報道官から激しい口調で誹謗中傷するような言い方をされ、それが事実と著しく異なる判断できる状況であつても、報道官や総理大臣は、

「大変(オ)イカンに思う」

「誤解を解くように、丁寧に説明していきたい」

「きちんと理解してもらえるように、冷静かつ礼儀正しく対処していきたい」

などと言っただけである。ときに不満げな言葉を漏らすことはあつても、相手国を攻撃するような言い方はしない。それを齒がゆく思う人もいるだろうが、それが日本流なのだ。

だが、このところ日常生活の至る所で、こうした日本的コミュニケーションに^{ほころ}綻びが見え始めている。感情をむき出しにして怒り出す人。自分勝手な自己主張を遠慮なくぶつけるクレーム。攻撃的な衝動があちこちで暴走し始めている。(中略)

海外に目を向けても、異質な人々や国々の共生が深刻な課題になっているが、無用な争いを避け、思いやりに満ちた平和な世界を実現するにはどうしたらよいのか。

グローバル化というと、海外のやり方を取り入れることばかりを考えがちだが、日本流を発信し、私たちのコミュニケーションの取り方について理解してもらうことも大切だろう。さらには、日本流を広めることで世界中の対立の構図を和らげることができる

といったアピールもできるはずだ。

今こそ、日本のコミュニケーションが長年にわたって果たしてきた重要な役割とその価値を見直すべきであろう。

(出典 榎本博明『デイベートが苦手、だから日本人はすごい』より)

問一 傍線部(ア)～(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は ～

(ア) シユウチ

- ① 会社のシユウエキをあげる
- ② チユウシユウの名月
- ③ 社長にシユウニンする
- ④ 山間のシユウラク
- ⑤ エンシユウ率を覚える

(イ) リクツ

- ① 義務をリコウする
- ② クレームをシヨリする
- ③ コレラ患者をカクリした
- ④ リコ的な考え方
- ⑤ ノウリをかすめた

(ウ) セツパ

- ① シンセツな人
- ② 光のクツセツ
- ③ セツソウがない
- ④ 予防セツシユ
- ⑤ 他国とセツシヨウを重ねる

(エ) チヨウハツ

- ① 地震のゼンチヨウ
- ② 記録にチヨウセンする
- ③ 彼の真コツチヨウだ
- ④ 恩師のチヨウモンを訪れる
- ⑤ 環境破壊をジヨチヨウする

(オ) イカン

- | | | |
|---|---|-------------|
| ① | イ | アツ的な態度 |
| ② | イ | ライされたものを届ける |
| ③ | イ | レイの事態だ |
| ④ | イ | セキの発掘 |
| ⑤ | ヘ | イイな文章 |

問二 空欄 I と II に入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから

一つ選びなさい。 解答番号は 6、

7

I 6

- ① ずばり
- ② むしろ
- ③ しかし
- ④ やはり
- ⑤ とても

II 7

- ① 感情的になつているとき
- ② 不満があるとき
- ③ 怒っているとき
- ④ 悲しいとき
- ⑤ 困っているとき

問三 傍線部 A 「日本文化がその種の能力を必要としないからだ」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 解答番号は 8

- ① 利害が対立する場合でも、自己主張でなく譲り合いの精神で落としどころを探そうとする日本文化は、議論を戦わせる能力を必要としなかったということ。
- ② 学校教育や社員研修の場で、議論を戦わせるということをしてこなかった日本文化は、自己主張をする能力を育ててこなかったということ。
- ③ 親が子どもに対して権威を振りかざさない日本文化においては、自己主張をする能力や相手の言うことに遠慮なく反論する能力が必要ないということ。
- ④ 自分の非を認め、自己正当化に執着しない日本文化は、議論を戦わせて自己主張する能力を必要としなかったということ。
- ⑤ 相手が何を思い、何を望んでいるのかをその言葉や様子から察することができ、日本文化においては、自分の主張を言葉にする必要がないということ。

問四 傍線部B『外国人を不思議がらせるジャパニーズ・スマイル』とあるが、なぜ日本人は微笑むのか。その理由として最も適当なものを次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 9

- ① 状況を改善できないと開き直っているから
- ② デイベートのスキルを身につけていないから
- ③ はっきりと自己主張することに慣れていないから
- ④ 相手の気持ちへの配慮を優先させるから
- ⑤ 状況にふさわしい感情表現がわからないから

問五 傍線部C「見苦しさを嫌う日本では、それが「できた人物」ということになるからだ」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 10

- ① 勝ち負けに執着せず、過程を大事にしているから
- ② 力が及ばなかったことを謙虚に反省しているから
- ③ 自分の気持ちを感情的に発散することを抑えているから
- ④ スポーツ競技の審判に対し敬意を表しているから
- ⑤ 競技相手と対立することを回避しているから

問六 次の文章は、問題文中の(1)～(5)のいずれかの部分に入る。該当する箇所として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 11

でも、彼らにとっては、それがごくふつうの日常なのだ。常に議論を戦わせて生きている。

- ① (1)
- ② (2)
- ③ (3)
- ④ (4)
- ⑤ (5)

問七 本文の主旨として、最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 12

- ① グローバル化が進展する中で、自分の状況にふさわしい感情表現を行い、自己主張をしていくことが、外交の相手国から非難されずに諸外国との共生を図るためには必要である。
- ② デイベートの盛んな国々では、自分の非を認めず、自己正当化に執着することが多いが、諸外国も相手のいうことを極力否定しないように気を使う日本的なコミュニケーションを取り入れるべきだ。
- ③ 日本人は議論ができないと言われるが、相手の気持ちや立場を思いやり、感情を抑え、自己主張を控える日本的なコミュニケーションのとり方の利点を見直し、海外にも発信すべきだ。
- ④ 日本人がデイベートができないのは、幼少のころから母親が親としての権威を見せないことが原因であり、学校や社員研修の場で、身振り手振りを交えて盛んに自己主張することを学ぶ必要がある。
- ⑤ 日本では、見苦しさが嫌われ、潔さを示すことが「できた人物」とされるが、外交の場面においては、外国の報道官から激しい口調で誹謗中傷されたときには、しっかりと自己主張をすべきである。

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は、ダンゴムシにおいて心を見いだすために、多重T字迷路、水包囲アリーナ、そして環状通路を使って実験を行いました。これら、「未知の状況を与える」装置を使った実験の設定には、まずダンゴムシと付き合い、適応的な特定行動と、それを発現させる特定状況を見いだすことが必要でした。

ア ただ、「現実には」、特定状況を動物に与えても、特定行動が発現されるか否かは、今現在のその動物の状態にかかっています。

イ そして、その行動はある特定状況の下で発現することが、その動物と付き合い合っているうちにわかってきます。

ウ ダンゴムシの場合、「*交替性転向」という特定行動が、「石や壁のような障害物に遭遇する」という特定状況の下で発現することがわかりました。

エ 私たちは、ある動物においてある特定行動が発現するのを目にすると、なぜその行動が発現されたのかを考えます。

すなわち、特定状況は特定行動を一意には決定できません。たとえば、その動物が病気であれば、発現されないでしょう。また、病気でなくても、そもそも彼らがその特定状況に気づいてくれなくては、すなわち、注意を払ってくれなくては、その行動は発現されません。そして、私たち観察者にできるのは、実験装置を与え、その注目を促すだけです。すなわち、直接手を下して注意を向けさせることはできません。たとえば、ダンゴムシのT字迷路実験では、通路に投入すると、どうしても後退してしまう個体がまれにいました。このような個体に対し、^(ア)むやみにお尻をつついたりすることは逆効果です。^(イ)萎縮し、動かなくなってしまうのが落ちです。実験者は、彼らの気が向くのをじっと待つしかありません。

ですから、私が最も興味を引かれるのは、動物は、私たちが特定状況を与えると、それ以外のさまざまな状況を察知する能力を持っているのに、「自律的に」提示された一つの特定の状況のみに注目するという、その「事実」です。

それには、他の多くの状況に注意が移るのを抑制する力が必要です。たとえば交替性転向が発現されるには、壁面の肌理きめに注意が移ってはいけません。その抑制力のもとが「心」です。この力は、逆説的ですが、「未知の状況において、予想外の行動を発現させる潜在力」としてしか確認できません。

このように、私の興味は、動物の行動とその発現を支える心にあります。ところで、ある動物の行動が、なぜ、そのとき、その場所で発現したのかを考える伝統的学問分野があります。それは「動物行動学」です。

動物行動学を創り上げたのは、鳥のヒナの刷り込みで知られるコンラート・ローレンツ、ミツバチの8の字ダンスで知られるカール・フォン・フリツシュ、そしてイトヨの配偶行動で知られるニコ・ティンバーゲンです。

特に、ティンバーゲンは、ある動物の特徴的な行動を目にしたときに、私たち研究者が素朴に抱く「なぜその行動をとったのか」という疑問には、次の四つの問いとして答えなければならぬと提案したことで有名です。この問いは、動物の行動を研究する者にとって重要な指針となります。

一つめは、その特徴的な行動が「どのような仕組みで生じるのか」という問いです。その行動がその動物種において特徴的である、すなわち、ある動物種における多くの個体で観察されるならば、何か共通の仕組みがあると推測されます。

二つめは「どのような機能をもっているのか」という問いです。その行動がある動物種で一般的に観察されるならば、それには生存に役立つ機能が備わっているはずで

三つめはその生物の成長につれて「どのように獲得されるのか」という問いです。その動物種の中には、その特徴的な行動をとらない個体もまれにいます。とる個体ととらない個体とは、何か違いがあるはずで、それは異常なものではなく、その行動は、その動物がある程度成長しないと発現しないからなのかもしれません。

四つめは「どのように進化してきたのか」という問いです。その動物種は、地球上にあるとき突然現れたというわけではないでしょう。かつて存在していたはずの多くの近縁種とともに厳しい自然選択の過程で試され、その結果、他の動物種が淘汰され、今の動物種が選ばれたはずで、選ばれた理由の中には、その特徴的行動の有用性も含まれるはずで

このように、今日にした行動の発現は、

I

という要因が互いに複雑に関わって実現するのです。一つの行動がなぜ生じたのかに答えるのは、そう簡単なことではないのです。

*本文は一部原本を省略しているところがある。

*交替性転向——ある時点の転向方向が、その直前の転向方向と反対になること。つまり、T字路で最初に右に曲がったら、次のT字路では左に曲がるという行動。

(出典 森山徹『ダンゴムシに心はあるのか』より)

問一 傍線部(ア)～(イ)の意味として適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は 、

(ア) むやみに

- ① だらだらと
- ② 道理に反して
- ③ せかせかと
- ④ いらいらして
- ⑤ あとさきを考えずに

(イ) 萎縮

- ① 恐怖で動けなくなること
- ② 緊張して動作が鈍くなること
- ③ 縮こまって小さくなること
- ④ 不満に思っただけで反抗すること
- ⑤ 驚いて動けなくなること

問二 の中のア～エの文章を、文意が通るように並べ替えたとき、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は

- ① アーイーエーウ
- ② アーウーイーエ
- ③ エーイーウーア
- ④ エーウーアーイ
- ⑤ エーウーイーア

問三 空欄 に入る文章として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は

- ① 機構、機能、教育そして突然変異
- ② 機構、機能、発達そして進化
- ③ 観察、状況、発達そして進化
- ④ 観察、機能、教育そして進化
- ⑤ 機構、状況、教育そして突然変異

問四 本文の内容に合致するものが一つある。最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答番号は 17

- ① 人間が動物に特定の状況を与えると、必ずすべての動物が行う特定の行動がある。
- ② 特定の状況を与える実験では、動物が他のことに注意を向けないようにしなければならぬ。
- ③ 動物は、特定状況が与えられると、他の状況に注意が移るのを抑制する力があるが、その抑制力のもとが心である。
- ④ 動物に未知の状況を与えると、自律的に決まった行動がとれるのは心があるからである。
- ⑤ 動物がなぜその行動をとったのか、という問いは、ティンバーゲンの提案した4つの要因のどれか一つで説明することができる。

第三問 次の問いに答えよ。

問一 次の四字熟語のなかで、正しい漢字の使い方をしているものはどれか。解答番号は 18

- ① 一日千終
- ② 単刀直入
- ③ 和様折衷
- ④ 新陳代捨
- ⑤ 大義名文

問二 次の下線部のカタカナを正しい漢字に直したものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 19

- ① その考えは、彼のネットウ（年当）にはなかった。
- ② 彼女の絵は、とてもネウチ（値打）がある。
- ③ 彼のケイツツ（軽卒）な行動によって、計画は失敗した。
- ④ 年功ジョレツ（如列）型の賃金を採用している。
- ⑤ 貴重な野生動物がゼツメツ（絶滅）の危機に瀕している。

問三 次の下線部のカタカナを正しい漢字に直したものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 20

- ① 子どものスコ（健）やかな成長を願う。
- ② 長い年月をへ（徑）て、彼は理解した。
- ③ たくさんの紫外線をア（俗）びた。
- ④ たくさんの家族をヤシナ（育）っている。
- ⑤ 卒業証書をサズ（受）ける。

問四 全て正しい漢字を用いている文章として正しいものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 21

- ① 仕事を効立よく進めるために、段取りを決めた。
- ② 日本の製造業は国際的な競争力が低下した。
- ③ 営業会議で、新しい包草紙の導入が健討された。
- ④ 低過格で定供するために、弁当の原材料を見直した。
- ⑤ 寡黙な父も、強面の男性に威嚇されて声を荒げた。

問五 次の下線部の漢字の読みが正しいのはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 22

- ① 今年の敢闘（けんとう）賞を受賞した。
- ② 早晩（はやばん）、明らかになるだろう。
- ③ 心情を吐露（とろ）した。
- ④ 他者を排斥（はいじょ）する。
- ⑤ 慕情（ぼくじょう）にかられる。

問六 次の下線部の漢字の読みが正しいのはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 23

- ① 総辞職は必至（ひつす）の状況だ。
- ② 彼から言質（げんしつ）をとる。
- ③ 事の概略（ぼうりやく）を説明する。
- ④ 注意を喚起（じゃつき）する。
- ⑤ 漸次（ぜんじ）東へ移動しつつある。

問七 次の下線部の漢字の読みが正しいのはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 24

- ① 合格通知が届き、有頂天（ういてん）になる。
- ② それは、獲らぬ狸の皮算用（かわざんよう）だよ。
- ③ そんなことは日常茶飯事（ちやはんじ）だよ。
- ④ 彼は日和見（ひなたみ）な態度をとっている。
- ⑤ ここが正念場（せいねんば）だから、がんばろう。

問八 次の下線部の漢字の読みが正しいのはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は 25

- ① 趣向を凝（へ）らした作品
- ② 人々を欺（きず）く。
- ③ 人ごみに紛（まぎ）れる。
- ④ 努力を怠（おち）る。
- ⑤ 経歴を偽（はか）る。

問九 「時機をのがしてききめのないこと、手遅れ」との意味がある慣用句として正しいのはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は

26

① 後の祭り

② 犬も食わない

③ うなぎのぼり

④ 閑古鳥が鳴く

⑤ うわの空

問十 「同種のものが続々と出てくること」との意味がある慣用句として正しいのはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は

27

① 芋の子を洗う

② 水を得た魚

③ 花を添える

④ 雨後の竹の子

⑤ 錦を飾る

問十一 次のことわざとその意味が正しい組合せはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は

28

① 瓢箪から駒が出る …… 思いがけない得をすること

② 暖簾に腕押し …… 下手であるにも関わらず、好きで熱心にすること

③ 石橋をたたいて渡る …… 一度失敗したことに懲りて用心しすぎることに

④ 一事が万事 …… 完成には程遠い状態であることに

⑤ 雨だれ石をうがつ …… 根気よくやれば必ず成功することに

問十二 次の四字熟語の使い方として正しいものはどれか。次の①～⑤のうちから1つ選びなさい。解答番号は

29

① 父は定年で会社を辞めてから、田舎で青天白日の暮らしをしている。

② 彼は大きなことを約束してしまい、自縄自縛の状態だ。

③ 病気の発見が遅れて、七転八起の苦しみだったようだ。

④ さすが親子だけあって、深謀遠慮に伝わるものだ。

⑤ 彼女は千載一遇の七冠を達成した。

児童指導員科-手話通訳科 国語 正答・配点

問題番号		正答
第1問 (55点)	1	5
	2	2
	3	1
	4	2
	5	4
	6	2
	7	5
	8	1
	9	4
	10	3
	11	2
	12	3
第2問 (20点)	13	5
	14	3
	15	3
	16	2
	17	3
第3問 (25点)	18	2
	19	2
	20	1
	21	5
	22	3
	23	5
	24	2
	25	3
	26	1
	27	4
	28	5
	29	2